

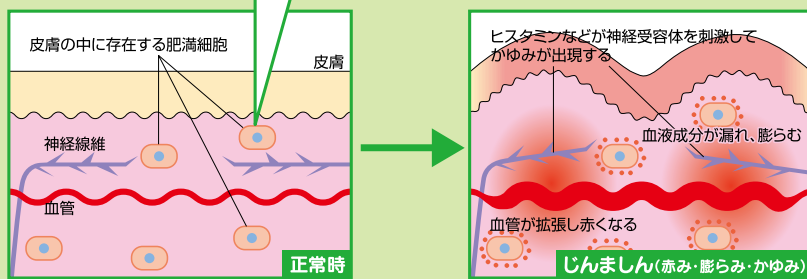
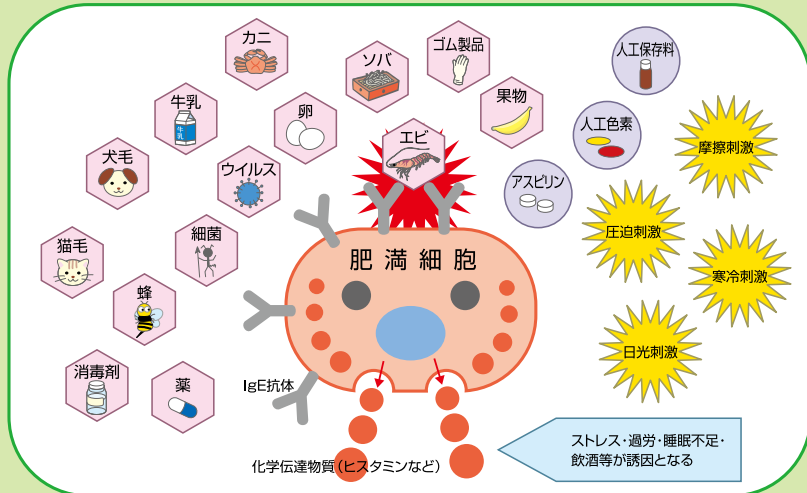


# じんましん(蕁麻疹)

かゆみの激しい赤い膨らみが突然からだのあちこちに出現し、一日のうちに出たり消えたりするものをじんましん(ほろせ)といいます。いろいろな原因で発症しますが7割は原因不明です。重症の場合は呼吸困難、血圧低下、腹痛などの全身症状を伴うことがあります。じんましんが出たら早めに皮膚科専門医を受診して下さい。

## じんましんのおこるしくみ ?!

いろいろな原因、刺激、誘因で肥満細胞からヒスタミンなどが分泌されてじんましんは出現します



■全身に多発した急性じんましん



■くり返す慢性じんましん



■通常のじんましんより小さめの特殊なタイプのコリン性じんましん



■口唇におこった深めのじんましん(クインケ浮腫)



■薬でおこったじんましん



■猫を抱いておこった接触じんましん(結膜のむくみあり)



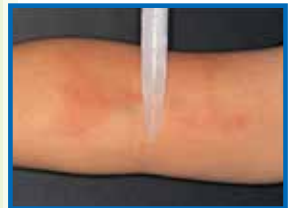
■蜂アレルギーでおこったじんましん(血圧低下あり)



■胆のう炎で誘発された細菌によるじんましん



■ひっかいて誘発したじんましん



■氷水で誘発した寒冷じんましん



■皮内テストで原因を調べる

## じんましんの豆知識

- 1 1か月以上続くものを慢性じんましんと呼んでいます
- 2 サバ、タケノコなどの食物中に含まれるヒスタミン(仮性アレルゲン)で起こることもあります
- 3 食直後の運動により激しいアレルギー症状が起こることがあります(食餌依存性運動誘発性アナフィラキシー)
- 4 重症の場合(蜂・ソバなど)、息苦しさ、血圧低下(ショック)を起こし、入院治療が必要です
- 5 ストレス、睡眠不足、飲酒、温熱などの悪化要素をできるだけ避けましょう
- 6 食品添加物、健康補助食品、市販薬が原因になることがあります
- 7 長く続くじんましんでは自分に合った薬をみつけてもらい、上手に付き合う必要があります
- 8 必要に応じて一般検査、アレルゲン検査(血液検査、皮内テストなど)を行うことがあります

いいひふ  
11月12日は皮膚の日です